

CASE STUDY

VPSX[®] で IBM System i と Windows システムの総合印刷環境を実現

日 本のエンジニアリング・プラスチック業界のリーディング・カンパニーは長年印刷インフラの改善を課題にしていました。同社は VPSX[®] ソリューションを採用することにより、IBM System i と Windows システムの全社統合環境を実現し TCO を削減しプリンティングに関する全社一点集中管理を実現しました。



組織

株式会社エンプラス（以下エンプラス）は埼玉県川口市に本社を置く、東証一部上場の総合精密電子部品メーカーです。創業から連綿とつづく、エンジニアリング・プラスチックを素材とした、高機能・精密プラスチック製品の生産によって培ってきた精密加工技術と機械要素に、光学、照明、電気といった要素技術を加え、エンブラ事業、オプト事業、半導体・液晶機器事業に関わる総合精密電子部品メーカーとしてグローバルに発展を続けています。

環境

基幹業務システムとして System i が稼働し、またその他に、PDM システム他、様々な Windows アプリケーション・システムが稼働しています。System i は本社に設置され、全国 12 箇所の事業所・関連会社がネットワークで接続されてい



ます。プリンターは System i 系と Windows 系の二系統に分けられ、約 100 台が System i からの出力用に PCOMM プリンター・セッションを介した印刷に使用されており、うち約 30 台はドット・プリンター、残りはレーザー・プリンターや複合機が使用されていました。また一方、Windows システム用には System i 用のプリンターとは別に約 100 台の様々なメーカーのレーザー・プリンターが使用されていました。

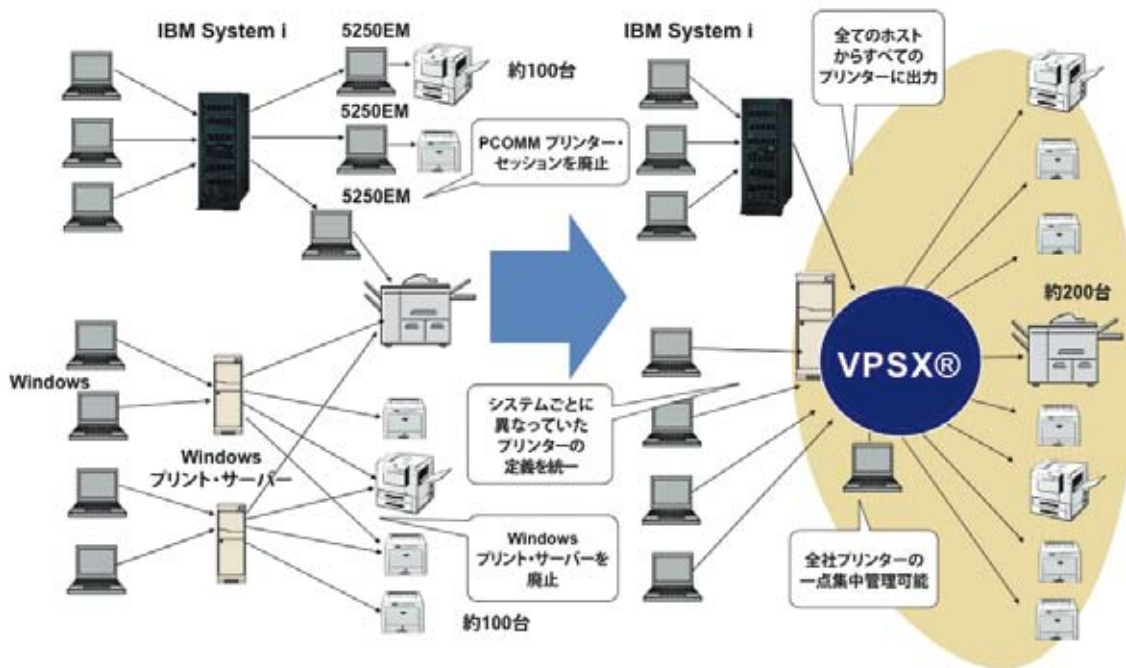
お客様の課題

エンプラスでは System i 用ドット・プリンターの老朽化に伴い、ドット・プリンターによる出力の廃止を念頭に印刷環境全体の TCO 削減と管理体制の見直しを行いたいと考えていました。また、従来はドット・プリンターで 15 インチ幅の連続紙に印刷してファイルを保管していた社内文書を A4 カット

紙への印刷に切り替え、保管スペースや保管コストを削減したいとも考えていました。遠隔事業所への System i 印刷のためには、専用の IBM PCOMM プリンター・セッションを張るために PC を配置しプリンターも System i 専用としていましたが、Windows 用に使われていた他のプリンターも含めてプリンターの利用効率を何とかあげられないかと考えていました。

VPSX 導入の効果

エンプラスではオープン・システム印刷を管理するいくつかの選択肢を評価した結果、LRS の VPSX ソリューションを採用しました。VPSX を導入することにより、全ての System i からの出力と、Windows システムからの出力を VPSX サーバー経由に統合して、どのホスト・システムからもすべてのプリンターに出力可能になりました。（次頁の図を参照。）このことによりプリンターの稼働率が高まり不要プリンターの整理統合ができました。ドット・プリンターで 15 インチ幅連続紙へ出力していた出力は VPSX の任意倍率縮小の標準機能を利用することで、アプリケーションには変更なく、カット紙 A4 横のレーザー・プリンター出力に容易に移行することができました。また、VPSX の管理画面機能を利用することで、システム管理部門でのプリンターの状態管理やプリント・ジョブの全社一点集中管理ができるようになり、IT 統制基盤の強化の観点から大きな効果がありました。



VPSX ソリューションの導入を指揮された株式会社エンプラス業務改革推進室 IT 企画グループ部長 薄木 互 (うすき わたる) 氏 (写真) は次のように述べています。



「印刷のインフラをなんとか改善したいというのが長年の課題でしたが、コスト面、効果面で適当なソリューションがなく困っていました。そんな時に提案を受けた LRS 社の VPSX ソリューションは、弊社の要望の一つである、ホスト・アプリケーションの変更を最小限に、連続紙からカット紙への統合を実現できるということで、まず興味を持ちました。特に現行の System i の OUTQ の持ち方などを変更することなく、フォーマットの異なる様々な印刷に対応できることが気に入りました。」

「全体的な移行の効果として大きかったのは、従来 System i からの遠隔地印刷において、印刷のためだけに PCOMM プリンター・セッション用 PC を設置・運用していましたが、それらが一切不要になったことです。さらに従来は System i の印刷と Windows 系の印刷でプリンターを別系統にしていたのですが、今回のソリューションでどちらのホストからの出力も全てのプリンターに印刷できるようになり、プリンターの利用効率が上がりました。」

VPSX ソリューションについて

VPSX ソリューションは次のような特徴を持っています。

- 堅牢なシステムと優れたパフォーマンスで確実にセキュアな印刷
先進のソフトウェア設計と実績のあるスケラビリティで企業に確実にセキュアなプリンティングをもたらします。

■ マルチホスト・システムからマルチベンダー・プリンターへの Any-to-any 印刷可能

System i, System z, Unix, Linux, Windows などの異なったホスト・システムからマルチベンダーのプリンターへのプリンティングが一つの統合プラットフォーム上で実現できます。

- 企業のプリンティング IT 統制基盤を強化
全社のプリンティング・システムを一点集中管理することが可能になり、企業としての「プリンティング・ガバナンス」が可能になります。

- プリンターの利用率向上とプリンティング TCO の削減
プリント・サーバーの統合やプリンター利用率の向上やプリンティング管理コストの削減で企業に TCO 削減をもたらします。

- 信頼のお客様サポート
LRS は LRS ジャパンオフィスの技術サポート・チームを中心に日本および世界中に技術サポート体制を敷いています。

Levi, Ray & Shoup, Inc.
Japan
〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町 1-4-6
木村実業第 2 ビル 3 階
電話：03-6667-7021
Fax：03-6667-7023



www.vpsx.co.jp

LRS、菱形に LRS のマーク、VPSX は米国 Levi, Ray & Shoup, Inc. の登録商標です。
IBM、System i、System z は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Microsoft、Windows は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
UNIX は、X/Open Company Ltd. がライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商号、登録商標または商品名称です。

LRS 社 会社概要

名称：Levi, Ray & Shoup, inc.
本社：米国イリノイ州スプリングフィールド
創立：1979年(非上場)
社員数：600名(全世界)
営業圏：北米、南米、アフリカ、欧州、オーストラリア、シンガポール、日本、他

LRS 社は 27 年間にわたりエンタープライズ・アウトプット・マネジメントのソリューションを世界中に提供しています。北米では Fortune100 企業の 92% が LRS のソフトウェアを利用しています。これらの企業の 30% 以上は 20 年以上の長期間ユーザーです。

LRS 社は高まる日本市場の重要性に対処するために 2005 年 10 月に東京に日本支社を設立して日本のお客様のサポートを強化しています。